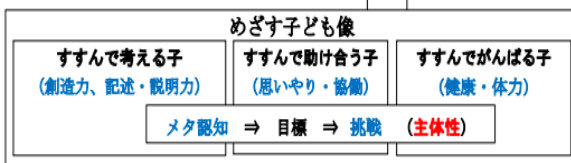


大分教育事務所訪問②-48 (計121)

大分市立竹中小学校に学ぶ

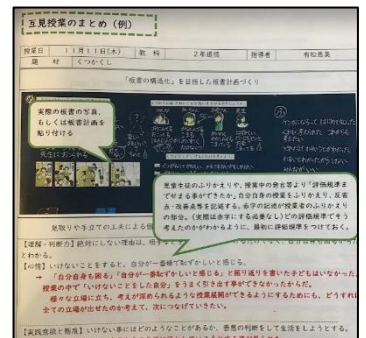
学校経営から学ぶ

学校の教育目標「生き抜く力を身につけた竹中っ子の育成」を達成するため、学習部、心の教育部、すこやか部の3部会が、それぞれ達成指標、重点的取組、取組指標を定め（プランニングシート）計画的に取り組まれています。ここで注目すべきは、学力調査や体力調査等については2回実施していることです。1回目の結果を踏まえ、教職員だけでなく子ども達自身が目標を設定することで意欲が喚起されるという「メタ認知⇒挑戦」という実践を行っています。そ



のようなことを繰り返すことで、子ども達自身が冷静に自分を分析し、改善点を見つけ出し、再度挑戦することで成長を感じることが出来ます。正に、調査の目的を理解した実践だと思いました。

また、「わかる喜びを味わう授業づくり」を目指し、「思いや考えを伝え合うための工夫」「見取りの工夫」「支援の手だての工夫」を中心に授業研究を行っています。そのため、互見授業を行った際は、授業後の板書の写真、子どものふりかえり、授業中の発言等より評価規準に迫ることができたかを授業者自身が振り返り、さらに反省点や改善点などを1枚の用紙にまとめ、全体で共有できるようにしています。



授業から学ぶ

全学級の授業を参観させて頂きました。どの教室からも、子ども達の声が響き、友達の発言に対して拍手やうなずきなどの反応があり、自分らしさが発揮できるのだと感じました。また、本時のねらいも「追求対象、着眼点、到達点」が示されており、日常から意識されているのでしょう。

本校は、子どものふりかえりを大切にしているので、今後は指導案における「振り返り」も教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記することで、教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで、授業改善がより推進されると思いました。



NO.542 2021年11月 大分市立竹中小学校

すすんで
考える子

自分の力で考える。友達の考えと比べる。もっと良い方法がないか考える。



NO.543 2021年11月 大分市立竹中小学校

すすんで
助け合う子

困っている人がいれば、自然に集まり学び合う。そのような学級はみんな成長する。



NO.544 2021年11月 大分市立竹中小学校

すすんで
がんばる子

教室に笑顔や笑い、拍手があるから安心できる。だから、全力で頑張れる。